

1. 件名：令和4年度原子力施設等防災対策等委託費（燃料集合体内液滴付着挙動解明試験）事業打ち合わせ

2. 日時：令和4年11月24日（木）10：00～12：00

3. 場所：原子力規制庁

4. 出席者

原子力規制庁

技術基盤グループシビアアクシデント研究部門

金子主任技術研究調査官

関根技術研究調査官

増原技術参与

一般財団法人電力中央研究所 上席研究員、他1名

5. 要旨

一般財団法人電力中央研究所と委託契約を締結した「令和4年度原子力施設等防災対策等委託費（燃料集合体内液滴付着挙動解明試験）事業」の打ち合わせを実施し、今年度の進捗状況等についての確認を行った。内容は以下の通り。

- スペーサ乱流促進効果試験については、液膜センサを用いた液滴付着計測を完了した。光学計測機器を用いた液滴流動計測は交換部品の調達がコロナ禍の影響で遅れているが、納期までには余裕をもって完了する見込みである。
- スペーサランオフ効果試験については、模擬燃料棒への液滴付着計測及びスペーサ構造物への液滴付着計測を完了した。
- スペーサ効果モデル案の作成については、スペーサ型毎の液滴付着計測の結果から鉛直方向の液滴付着分布を整理し、近似する関数形を設定する方向で取りまとめている。
- 以上より進捗状況については、スケジュールはおおむね予定通り進捗していること確認した。

6. 配布資料

なし